



# さざん くるす

KINAN HOSPITAL  
OFFICIAL INFORMATION PAPER

July 1st.2019

vol.65

## 腎臓内科と私の自己紹介



腎臓内科 橋本 整司

昨年より腎臓内科に赴任しています橋本と申します。

紀南病院の腎臓内科は私の赴任に合わせ、科名を「透析科」より「腎臓内科」に改名いたしました。これは血液透析だけを診る科ではなく、腎臓病の全て診る科であることを明確にするための改名です。昨年より新たに腹膜透析の導入と管理や腎臓病の診断に欠かせない腎生検（腎臓の組織検査）の充実など、名前だけではなく診療体制や診療内容も充実してきています。この春からは、Drも1名増員となり、小林、山野、大澤各先生の4名で腎臓領域の全ての疾患に対応しています。昨年はアフェレシス学会（血漿交換などを扱う学会です）の認定施設となり、この春には日本腎臓学会の研修施設に認定されました。さらに日本透析医学会の教育施設の申請中です。和歌山医大の腎臓内科学教室と連携を取りながら、和歌山県南部の腎臓疾患の中核病院としての重責を担っていくつもりですので、腎臓病や検診異常や浮腫みなどの症状のある方などはお気軽にご相談ください。

私の自己紹介をしますと、和医大の目の前の明和中学校の出身で、(当時は競馬場でした)その後は北大の医学部に進学し、北大第二内科に入局しました。2000年より世界最大の研究施設のNIH(アメリカ国立衛生研究所)に3年間勤務しました。NIHは米国の生命科学の中心で、NIHとそのプログラムからは153名のノーベル賞を輩出しています。NIHでは医学研究とは何たるかを学びました。ただ、航空機テロによる首都ワシントンの大混乱も経験しました(記憶に残る1日でした)。帰国後は北大と札幌市内で勤務していましたが、故郷の和歌山に戻ることにしました。



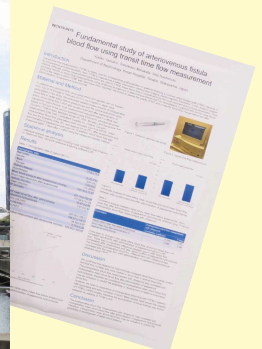
札幌ドームにて

プライベートでの趣味は鉄道と温泉(ソムリエマスター)です。学生時代はスキー場の年間シーズン券を購入していましたが、今はなしです。軟式テニスと野球が少々で、写真は数年前の北大の医局対抗野球の決勝戦の札幌ドームでの一戦です。私の現役の引退試合で、最後の打席は三振。負けましたが試合後仲間が胴上げをしてくれました。優勝した整形外科からは「負けて胴上げ??逆じゃね?」と言われましたが。

まあ、私の趣味はともかく診療以外の学会活動や研究活動も若いDrには大事だと考えています。診療レベルの向上につながり、最終的には患者さんのためにもあると思います。当科ではこの春に国際腎臓学会で発表を行っています(写真)。NIHのように世界一を目指すわけではありませんが、世界水準の医療を提供できればと考えています。今後ともご指導ご鞭撻をお願いいたします。



国際腎学会会場前の腎臓アドバルーン



## 研修医日記

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。ムツとする暑さの中、いかがお過ごしでしょうか。武田真一郎です。早いもので研修医も2年目に突入いたしました。待望のサザンクロスへの寄稿の大役が私にも回ってまいりましたので、筆を取らせてもらった次第です。まずはじめに申し上げておきたいのですが、令和元年六月某日昼過ぎの医局のデスクにて緊張で指先を湿らせながらこの本文をタイピングしているということです。というのも何を隠そう、将来は作家になって欲しいという両親の願いから『真一郎』と名付けられたものですから期待に応えようと張り切り過ぎてしまうのもご理解いただけるかと思えます。ちなみに、文学・作文に関して何かしらの表彰を受けたことは一度たりともございません。こんな私ですが、しばしお付き合い願います。

1年目は内科系を中心に、循環器内科・救急科・消化器内科・腎臓内科・南和救急・外科・産婦人科・精神科とローテートさせていただきました。医師1年目であるとともに社会人1年目でもあり、指導して頂いた先生方や看護師さん含め病院職員の方々に多大なる(思い出すだけでも顔から火が出るような)ご迷惑をおかけした事をこの場を借りて謝らせていただきます。それでも、四月からは2年目になり仕事にも少しずつ慣れ、また後輩達に背中を見られているという思いも相まって昨年より引き締まる思いで日々勤務しております。

閑話休題。自己紹介を少々させていただきます。かに座のB型。生まれ・育ちは奈良市、高校・予備校は大阪で、慶應大学理工学部を中退したのち平成23年に和医大に入学しました。特技はダイエットとリバウンド(86kg→80kg→87kg→79kg 現在はダイエット期)。趣味は体を動かす事で、フットサルやテニスをたまにしています。十月にはジャズマラソンでハーフマラソンデビューを同期達と画策しています。週末には味光路に繰り出したり、大阪に遊びに行ったりしています。信じて頂けないと思いますが、自分の話をするのは苦手はこの辺りでご容赦ください。

本寄稿にあたり某同期に相談したところ、『起承転結で書いたらええねん』とスマートなアドバイスをもらったものの(承ってなんやねん)という疑問が拭えぬまま最終段落まで辿りついてしまいました。1年間を振り返ってみますと一番強く感じることは、紀南病院で働く人達の優しさでした。看護師さん、放射線技師さん、事務の方々など色々な人達に支えられて一年間やってこれたように思います。皆さんの優しさに甘え過ぎないように、精進して参りますので今後ともよろしくご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。最後に、ここまで一緒にやってきた同期にも謝意を述べたいと思います。一緒に旅行はいかへんやろうけど、これからもヨロシク。



研修医  
武田 真一郎

## 「ビーチラグビー白浜ナギサカップ2019」 紀南病院ビーチラグビーが参戦

紀南病院ビーチラグビー部は5月12日に白浜で開催されたビーチラグビー大会に出場しました。今回は1年目研修医中心のチーム構成で初心者が多かったのですが、一戦一戦力をつけ、現役の高校ラグビー部のチームからもトライを決められるまで成長しました。

この他にもジャパンカップ白浜大会等に出場しています。現在、部員募集中です。私達と一緒に、純白に輝く砂浜を駆け巡ってみませんか。



## 新研修医を囲む親睦会

5月31日、今年採用の研修医6名の歓迎会が行われました。まずは、ひとりひとり自己紹介(中には和歌山に決めたとたん失恋した方も…)

木村副院長の一言マイク指名。お題は「医師とは」。トップバッター岩畔先生の「謙虚である」で始まり指名された先生方が様々な考えを熱く語って頂きました。研



修医の皆さん参考にして下さいね。美味しいお料理と会話に時間が瞬く間に過ぎ、6名の新人医師もすっかり紀南病院の一員になっていました。

紀南病院二次救命処置コース(ICLSコース)について、サザンクロスの紙面をお借りしましてご紹介させていただきたいと思います。

まず、ICLSとはImmediate Cardiac Life Supportの頭文字をとった略語で、「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」の習得を目標とした蘇生トレーニングコースです。一次救命処置を基本に蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療についてシミュレーションを通して1日かけて学ぶコースです。

紀南病院では、田村志宣先生のご尽力によりシミュレーション教育運営委員会が立ち上がり、日本救急医学会認定コースとして2015年6月に記念すべき第1回紀南病院二次救命処置コースが開催されました。その後は年2回のペースで、2019年2月に第8回まで開催することができました。現在のところ、受講者延べ人数は95人、院内インストラクターもアシスタントを含めると26人に増えつつあります。また、昨年度よりインストラクターの質向上を目的とした研修会の開催など、指導者育成にも少しずつ取り組んでいます。

委員会をはじめとして、院内外の諸先生方や看護部、田辺消防さんの協力を得て第8回まで開催できたことで、紀南病院の「救命の連鎖」の裾野が広がっていることを実感します。実際、心停止に陥った患者をハリーコール要請・円滑なチーム医療により救命できた(社会復帰できた)事例もありました。

ICLSの「immediate」とは「すぐに」「間髪を置かない」という意味で、心停止はまさに「間髪を置かない対応」が必要となってきます。その場に居合わせた人や応援に駆けつけた人が協力してチーム蘇生を目指すという意味では、医師や看護師、救急救命士だけでなく、臨床工学技士、薬剤師、放射線技師、理学療法士といったメディカルスタッフのコース参加も可能であり、大変意義があることと考えます。

**「楽しみながらみんなで学ぶ」**をモットーに今後も末永く継続していけるよう取り組んでいきます。令和元年最初のコースは7月14日(日曜日)に第9回コースを予定しています。皆さんのコースへの参加、是非お待ちしております!!どうぞよろしくお願いたします。



参加者の真剣な眼差しに答えようと  
インストラクターの指導も熱が入り  
.....



### 《花の日の訪問》

6月2日(日)に紀南幼稚園の園児達が自分たちでアレンジした花束を持って訪問してくれました。園児達から手渡され、山西先生をはじめ看護師もにっこりと微笑んで受け取っていました。心のこもった花なので大切に飾っています。



# 病院のまど

## 第76回市民健康講座

皮膚の病気は、見える病気が多いです。それだけに早くみつけることで悪化を防ぐことも出来たりします。今回は皮膚がんの見分け方についてお話しします。



日時 令和元年 7月21日(日)  
午後2:00~3:00

演題 **自分で見つける  
皮膚がんの見分け方**

演者 土井 直孝  
(紀南病院 皮膚科医長)

会場 紀南病院 3階講堂

学校便り

5月25日、自治会主催の新入生歓迎会をかねて、校内ドッジボール大会が開催されました。新入生も先輩方と交流がはかれ、楽しめたようです。

6月1日、2年生(40名)が看護学生体験を行いました。地域の高校生(35名)が参加し、手指衛生、バイタルサイン測定を実施しました。お互いに血圧測定を行い、呼吸音を聴取してもらいました。これを機会に看護の仕事に興味を持ち、進路決定の参考にして頂けたらと思います。



編集後記

この7月から健康増進法の一部改正が施行されます。この改正はタバコの受動喫煙に関連したものであり、これまではマナーの範疇であったことがルールとなります。さらに来年からは全施行となり適応範囲も広がります。

タバコは嗜好品ですので、愛煙家の方々は自分だけ楽しむのではなく、周囲の方々への気配りも忘れずに楽しんでください。またこれを機会として禁煙を目指してみるのはいかがでしょうか?お財布と身体に優しいかもしれませんよ(笑)

編集後記 黄人

## daikoku 株式会社 大黒

本社: 〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

|                    |  |
|--------------------|--|
| 和歌山事業所             | 〒641-0012<br>和歌山市紀三井寺 855-71               |
| 紀三井寺事業所            | 〒641-0014<br>和歌山市毛見 1111-1                 |
| トライアルフィールド ayumino | 〒594-1157<br>和泉市あゆみ野 4-6-6                 |
| 南大阪支店              | 〒594-1157<br>和泉市あゆみ野 4-6-6                 |
| 大阪支店               | 〒577-0015<br>東大阪市長田 3-7-11                 |
| 神戸支店               | 〒653-0042<br>神戸市長田区二葉町 1-1-22              |
| 奈良支店               | 〒630-8115<br>奈良市大宮町 6-3-13 大宮ヨシエビル         |
| 紀南支店               | 〒646-0011<br>田辺市新庄町 3778-2                 |
| 阪神営業所              | 〒661-0981<br>尼崎市猪名寺 1-22-22                |
| 新宮営業所              | 〒647-0052<br>新宮市橋本 2-5-61                  |
| 東京麹町オフィス           | 〒102-0083<br>千代田区麹町 3-5-2BUREX 麹町 301号     |
| 京都丸太町オフィス          | 〒606-8395<br>京都市左京区丸太町通川端東丸太町 32-3 上田ビル 3F |

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

## SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



■本社  
〒640-8287 和歌山県和歌山市薬港6丁目9番地の10  
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店  
〒595-0012 和歌山県和歌山市北豊中町2丁目5番28号  
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室  
〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺768番地の13  
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所  
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地  
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所  
〒647-0072 新宮市峰伏20番22号  
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所  
〒632-0082 天理市荒崎町56番地の4  
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

生命を守る人の環境づくり  
SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社